



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2014年11月 No.390

Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2014~2015)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『多くの扉を開き感動を共に』 国際会長 : 『言葉より行動を』 アジア地域会長 : 『未来を始めよう、今すぐに』 西日本区理事 : 『響き合い、共に歩む』 中西部部長 : 『YMCA・ワイズ共に若者、社会に光を』	会 長 : 芝田 光雄 副会長/書記 : 何 早林 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 大村 肇 メネット会長 : 坂本 千春 Y連絡職員 : 鍛治田千文

Biblical Message of November

イサクは父アブラハムに、「わたしのお父さん」と呼びかけた。彼が、「ここにいる。わたしの子よ」と答えると、イサクは言った。「火と薪はここに在りますが、焼き尽くす献げ物にする小羊はどこにいるのですか。」アブラハムは答えた。「わたしの子よ、焼き尽くす献げ物の小羊はきっと神が備えて下さる。」二人は一緒に歩いて行った。
 (創世記 22 章 7-8 節)

「中国語と広東語」

藤原 正巳

- ・毎年一度、かつて駐在した香港に旅をしています。その都度感じることは、香港の至る所で大陸中国から訪れた人々の北京語が響き、対応する香港人は広東語を封印し、異邦のことば北京語で接客に精を出していることです。
- ・私が香港に駐在していた 1991 年から 1994 年の間では、北京語を話せる社員は全体の 1 割以下でした。上記の現象は、大陸の人々の購買力が上がり、広東語のステータスが相対的に下がったことの表れです。
- ・北京語、広東語を「中国語」という括りを見れば、その隆盛ぶりは多くの国で実感されています。韓国では昇進試験に英語と併せ中国語を課す企業も多く、英国でも遠からず小学校で中国語の授業が始まるようです。この勢いが続けば来世紀には英語に代って中国語が「世界言語」になるかもしれません。皆さん今からでも遅くありません、何早林さんに北京語を習いましょう！

(次号は、中村茂高です)

November Club Meeting

『Public Relations Wellness』

11月第1例会

日 時：2014年11月19日(水) 18:45~21:00

場 所：ホテルグランヴィア大阪

司 会：藤原 正巳 君

- | | |
|------------------------------|----------|
| 1.開会 | 芝田 光雄 会長 |
| 2.ワイズソング | 一 同 |
| 3.今月の強調月間 | 藤原 正巳君 |
| 4.聖句朗読 | 石津 雅人 君 |
| 5.ゲスト紹介 | 芝田 光雄 会長 |
| 6.晩餐 | 一 同 |
| 7.卓話「YKK” China+One” でアジア展開」 | |
| 元 YKK ファスニングプロダクツ販売(株) | |
| 執行役員 山口 晴司さん | |
| 8.連絡・報告・ニュース | 各メンバーから |
| 9.誕生祝い・ニコニコ献金 | 一 同 |
| 10.閉会 | 芝田 光雄 会長 |

お誕生日：山中、松浦の両メネット、山中メン

※プレゼントは巻頭言執筆者の藤原メンがご用意ください。

例会担当：第1班=大村、芝田、新保、山田、山中の各メン

※班担当者は 30 分前には来てください。

11月第2例会

日時：2014年11月26日(水) 18:30~20:30

場所：土佐堀YMCA会館4階



10月		種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント		ニコニコ献金	
在籍会員	20名	メ ン	15名	10名	10月	0g		
例会出席	16名	メネット	4名	0名	現 金	0円	10月:	13,120円
うちメーキャップ		ビジター	0名	0名	累 計		累 計:	68,320円
	0名	ゲ ス ト	1名	0名	切 手	5,767g		
出席率	80%	合 計	20名	10名	現 金	0円		

10月第2例会報告

と き：10月22日(水) 18:30~20:10

ところ：大阪YMCA 会館4階

出席者：石津、大村、岡本、芝田、中村茂、藤原、何、松浦、山田、山中の各メン

報告/審議事項

- ① 表コミお茶会の件、11/25(火) 14:50~15:40
- ② 香港IBC交流の件、2/7(土)~9(月)・2泊3日
参加者12名で手続き完了(藤原)
- ③ センテニアル寄席の件、3/7(土) 14:30~16:30
- ④ イベントの企画の件、ハイキングカイチゴ狩りを4、5月に企画(坂本)。
- ⑤ クラブリーフレットの件、500部発注。(岡本)
- ⑥ チャリティーラン台風により延期の件、2/1(日)、長居公園
- ⑦ 11/16ハワイ・ヌアヌクラブ50周年例会に祝電。谷川夫妻出席。手土産1~2万円。
- ⑧ クリスマス献金拡大実行委員会 実行委員長(大村) 11/6(木)YMCA702号室 12/4(木)チャリティーコンサート、1/24(土)チャリティーボウリング大会
- ⑨ 中西部YYフォーラム 11/29(土)土佐堀YMCA
- ⑩ 第2回中西部評議会 11/22(土)土佐堀YMCA
(議事録より)

≡≡ Club Activities (October, 2014) ≡≡

On October 15, our club's dinner meeting, named "Hong Kong Night" was held at Chinese restaurant, "Soryukyo" in Osaka with a total of 20 Y's men and Y's menettes, and also an one year old baby girl in attendance.

With its emphasis on "BF & EF" of this month Mr. Kan Tanikawa outlined its meaning and purpose.

We enjoyed a variety of delicious authentic Chinese meal especially selected by Mr. Hirokazu Kurihara, president of the restaurant.

Mr. Sam Fujiwara introduced the overall picture of our Brother club, "Y's Men's Club of Bauhinia of Hong Kong," whose Brother club affiliation with our club was initiated by Mr. Kan Tanikawa back in 1985 when Y's Men's Asia Area convention was held in Hong Kong. Mr. Fujiwara also briefed on the issue of the pro-democratic movement by students in Hong Kong lasting over weeks.

A total of 12 members, Y's menettes and a Y'sling are scheduled to visit Hong Kong coming February.

Mr. Sam Fujiwara and Mr. He Zao Lin respectively outlined the necessary procedures for the travel and planned schedule in Hong Kong.

Yen13,120 was collected as the club's Niko-Niko (smiling) fund.

愛する息子イサクを「主の献げ物」として差し出さなければならぬ父アブラハムの苦悩を表しています。近年、父親による子どもの虐待や子どもの自殺など嘆かわしい状況が報道されています。

父と子が共に問題を直視し、理解しがたい不条理な状況を、お互いの愛と信頼で受け止め、二人が別々に歩くのではなく同じ道を共に歩むことができれば、このような問題をなくしていけるのではないのでしょうか。

聖句選/コメント：石津 雅人
(次号は谷川有美子さんです)

10月第1例会報告

と き：10月15日(水) 18:45~21:00

ところ：中国食府 双龍居 天満駅前店

台風が抜け、秋も深まる大阪の天満の町。いつもの例会と趣を変えた中華料理店で、メン、メネット、ゲスト20名が参加し、10月第1例会「香港ナイト」を開催しました。

まず、坂本哲朗メンの兄貴分のような、よく似た顔立ちの店のオーナー栗原弘和さんが登場。自ら、食事を配膳、北京ダックの食べ方を教えてくれるなど、哲朗メンが日頃懇意にしているだけあって、採算度外視、サービスも満点。次々と出てくるおいしい料理に私たち一同、舌鼓を打ちました。

その後、藤原正巳、何早林の両メンから、IBCの香港ボヒニアクラブと当クラブの関係や2月の香港ツアーのこと、また抗議デモで揺れる香港事情について説明がありました。

異国情緒たっぷりの香港ナイトに、私達も堪能しました。
(中村 茂高)



自ら手に取り、食べ方を指導する栗原社長さん



見よ
なんと！この肉の厚い北京ダックを



谷川 寛

南太平洋オセアニア地域の研修コースを担当しました。テーマは、Rural Development Course（農村振興・整備）というプログラムで、パプアニューギニア、マイクロネシア、パラオ、トンガ、ヴァヌアツからの若いお役人と NPO の人々を受け入れました。はつらつとした若者たちで、なんでも吸収してやろうという意欲に満ちていました=写真。ブリーフィングの後、四国に移り、農村での実習に参加しました。日本の農業も、農村人口の減少、高齢化、生産性の低さなどの多くの問題を抱えており、農協（JA）も例の「岩盤規制」の対象となっています。現在進行中の TPP 交渉の進捗状況によりさらに改革を迫られるでしょう。

それでも、日本の農業をよく見ると、民間の活力を取り入れた新しいビジネスが始動、地域で独自の取組をして成功している事例があります。来日した彼らは、このような日本の農村振興での成功例を実地研修しました。

先日、安倍首相一行が、オセアニア歴訪の旅の最後にパプアニューギニアを訪問しました。南太平洋で一番大きな島で、人口も 673 万人と最多です。第二次大戦中、この島の戦場は悲惨を極めたそうで、日本軍は多くの犠牲者を出しました。首相夫妻も、ニューギニア戦没者の碑に献花した、と報じていました。今回の若い研修生に過去の日本との戦争についてたずねましたが、殆ど教えられていないようです。今回の安倍首相の訪問で、同国からの大きな土産が実現しました。同国生産の LNG（液化天然ガス）の輸入が実現したことです。原発が止まって電力不足に悩む日本にとって、LNG 調達ルートの多角化は朗報です。



勉強熱心な太平洋・オセアニア研修の参加者たち

☆2014年YMCA/YWCA合同祈禱週集会

日時：11月13日（木）18：30～20：30

場所：大阪YMCA10階チャペル並びに102～104（オープン）

内容：礼拝並びに交流会
（関西韓国YMCA/大阪YWCA/大阪YMCA）

<合同祈禱週>

11月9日（日）～15日（土）

◆テーマ：Bold and Transformative Leadership
「変革をもたらす大胆なリーダーシップ」

*世界中のYMCA/YWCAがこの週、同じ祈りを捧げます。

☆土佐堀YMCAクリスマスコンサート

日時：2014年12月4日（木）18:30～

場所：大阪YMCA会館10階チャペル

出演：バックウッズマウンテニアーズ

会費：1000円（ワンドリンク付）

*センテニアルワイズ芝田さんのバンドです！！みなさんそらってお越しください。

鍛冶田 千文

とさぼりカーニバル

11月3日、好天のなか、土佐堀YMCAあげてのお祭り、とさぼりカーニバルが開催されました。ラーメン店などの各種模擬店のほか、キッズランド、ステージパフォーマンスが行われ、親子づれなど1,200名の入場者が一日を楽しみました。

わがクラブも、山中夫妻のご努力と、メン、メネットのチームワークのよさで、八丁味噌商品のさしみコンニャクやゴボウ、かりんとうなどを完売。売り上げは、5万5千700円、収益は1万4千84円をあげました。藤井メンのお母様にも大変ご協力いただきました。

また、芝田メンが率いる「ハネリ・マカヒキ・ウクレレバンド」は、ステージパフォーマンスで、「カヒマナヒラ」「旅愁」「アロハオエ」「この木なんの木」を堂々と演奏。アンコール曲「ふるさと」を会場のお客さんと合唱しました。その他、受付、食器販売などのクラブの役割も無事終えることができました。

実行委員として大役を果たした大村、石津両メン、お疲れさまでした。





ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

《会員、メネットからのメッセージ》

- 双龍居の美味しい料理を食しながら楽しい例会でした。
(大村 肇)
- いつもと違った雰囲気楽しく、美味しい例会でした。香港ツアーも実現し、センテナルと香港がより近く、より盛り上がりやすいように。
(岡本 剛介)
- 8月、生徒・学生といった香港。今度行く時はゆっくり、そして少しだけでも生きてみたいです。2月は残念です(仕事です)。次回は是非お願いします。
(鍛冶田千文)
- 香港に行くのが今から楽しみです。
(坂本 哲朗)
- 大変美味しいお料理でした。主人がこのような店を知ってるなんて驚きでした。
(坂本 千春)
- 普段食べに行く中華料理店とは2ランク以上違って大変食材もよく美味しかったです。1万円のコースを4千円でして頂いた栗原社長様、坂本メンに感謝です。藤原様、何メンの香港のお話も大変よかったです。香港に皆で行けないのが残念です。
(芝田 光雄)
- 食事が大変よかったです。
(谷川 寛)
- 美味しい香港ナイトでした。また一つ楽しい思い出となりました。
(中村 幸枝)
- いつも楽しい時間を有難うございます。香港旅行、とても楽しみに日々の仕事に励もうと思います。1日も早く香港に平和が訪れますように。
(中村 舞)
- 坂本さん、楽しい企画を有難うございました。来年2月の香港旅行が皆様のご期待に沿ったものになる様、何さんと頑張ります。
(藤原 正巳)
- 双龍居さんの美味しい料理を頂き満足しました。坂本さんの「顔」は大したものですね。藤井さんの新しい仕事が成果を上げられますよう祈ります。
(松浦 孝次)
- 香港ナイト、中華料理大変美味しかったです。沢山の種類のお料理が出て、楽しく戴きました。香港旅行も楽しみにしています。
(松浦 和子)
- 台風過ぎて秋深し。香港ナイト、満足です。
(三浦 直之)
- 双龍居 食事良し、部屋構え良し、サービス良し、話題良し、企画運営者に感謝。
(山中 秀男)
- 香港ナイト、福到了(フータオーラ)
(山中ちあぎ)
- 今月(10月)の例会は「香港ナイト」と題して大阪天満の中国料理店で開かれています。一昔前に「香港ボヒニアクラブ」を訪問して、IBCを結んだりしたことを思い出したりしています。「ワイズメンズクラブは外国との交流が特徴ではないか」などと考えて楽しんでいます。
(山田 孝彦)



ハネリ・マカヒキ・ウクレレバンドもイカンジ!

後 記

先週のこと。ある縁で、ある方から、私は1937年、ヘレン・ケラー女史が来日の折、朝日新聞社の社長に宛てた手紙を入手しました。ヘレンが長崎の雲仙に滞在中、3枚にわたり英文タイプし署名したもので、色あせた便箋には「Hotel Unzen」と記載されていました。

ヘレンが三度来日した最初の訪問で、発足したばかりの日本ライトハウスがヘレンを迎えるにあたり、朝日新聞社が協力した時の礼状のようでした。

手紙には、来日の際の歓迎のお礼と、彼女が去った後の朝日の支援の継続の願い、また来日するにあたり、恩師サリバンが病気で困難な状況下で、サリバンに強く勧められたことが来訪につながったことが書かれていました。

ヘレンとサリバンにとって、日本に行くことは共通の夢でした。サリバンは臨終に際し、ヘレンに「日本の目の不自由な人たちの光になるように」と日本に行くことを強く促したようです。サリバンが亡くなった時、憔悴しきったヘレンの夢の中にサリバンが霊となって現れ、ヘレンは自分の使命を思い出したと著述しています。戦争が迫るなか、ヘレンは強く使命感をもって来日し、日本の障害者の平等な権利とリハビリ、教育施設の充実を訴えました。それが1948年のわが国の身体障害者福祉法の制定につながったようです。

(ヘレン・ケラー 輝ける魂より)

私はさっそくこの手紙を額に入れ、寝室に飾っています。ほとぼりが覚めるまでしばらく飾り、いずれは新聞社に返すつもりですが、どれほどの価値があるのでしょうか?

S.N



莉玖ちゃんも大満足!